

令和6年度 みどりっちプラン

(緑区区政運営方針)

基本理念：笑顔のあふれるまちをめざして

1	めざすべき将来像とその実現に向けた戦略・施策	1
2	令和6年度取り組み内容	
施策1	地域を主体とした住みよいまちづくり	3
施策2	地域・世代を超えてつながるまちづくり	7
施策3	誰もが自分らしく輝けるまちづくり	9
施策4	暮らしの中で健康になれるまちづくり	14
施策5	地域の魅力を誇りに思えるまちづくり	16
	区政運営の推進にあたって	17
参考		18
	各将来像に掲げる成果指標	
	令和6年度予算執行計画	
	令和5年度予算執行実績	

このみどりっちプランは、「第2期緑区将来ビジョン」（計画期間：令和6～10年度）に基づき、毎年策定しています。緑区の現状や地域の課題をふまえ、行政サービスを向上し、区民生活の充実を図るため、令和6年度の区政の主な取り組みをお示しするものです。

また、緑区では、SDGs（※）の理念を踏まえながら、取り組みを進めていきます。

※SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略です。



名古屋市緑区役所

1 めざすべき将来像とその実現に向けた戦略・施策

基本理念：笑顔のあふれるまちをめざして

将来像1 安心・安全で快適に暮らせるまち

防犯、防災、まちの美化、交通事故の防止等の活動に、多くの人が地域ぐるみで取り組んでいて、まち全体として、災害に強く、安心・安全で快適なまちになっています。

将来像2 子ども・高齢者・障害者 誰もがいきいきと暮らせるまち

人と人との助け合いや交流により、子育てや健康づくりがしやすく、恵まれた自然環境を生かし、誰もが自分らしく心豊かに生活できるまちになっています。

将来像3 魅力にあふれ歴史・文化を大切にするまち

区民一人ひとりが歴史文化や観光資源の魅力に対する誇りと愛着を感じながら、自らその発信の担い手となって、他の地域から多くの交流を呼び込んでいます。また、歴史文化の担い手も増え、魅力が持続的に継承されるまちになっています。

強みを生かした戦略を展開

- ・人と人とのつながり
- ・心と身体健康
- ・誇りと愛着

戦略1 まちの総合力の強化

これまで紡いできた”つながり”を大切にしながら、地域や個々の枠組みを超えた新たなつながりづくりをすすめることで、皆で支え合うまちの総合力を高めます。

戦略2 ひと・まちの活力の向上

豊かな自然や地形の起伏も生かした心と身体健康づくりや、お互いが個性を尊重し合い、安心感や幸せに包まれた社会づくりをすすめることで、ひと・まちの活力を高めます。

戦略3 誇りや郷土愛の醸成

区の誇れるもの・すばらしさをさらに磨くとともに、知られざる魅力を発掘・発信し、受け継いでいくことで、誇りや郷土愛を醸成します。

3つの戦略のもとで、めざすべき将来像の実現に向け、5つの施策に取り組みます。

施策1 地域を主体とした住みよいまちづくり

防犯、交通安全、防災など安心・安全・快適なまちの実現に向け「自分の住む地域は自分達で住みよくする」という、地域主体の活動を支援するなど、様々な取り組みを進めます。

施策2 地域・世代を超えてつながるまちづくり

住む地域・世代、日頃の活動分野の垣根を超えた交流とつながりを支援するとともに、公民協働での取り組みを進めます。

施策3 誰もが自分らしく輝けるまちづくり

誰もが安心感や幸せに包まれ自分らしく輝けるよう支援するとともに、複雑化・複合化する課題解決に向け、地域・行政・関係団体がチームで取り組みを進めます。

施策4 暮らしの中で健康になれるまちづくり

誰もが心と身体が健康で生きがいを持って生活できるよう、様々な健康づくり、区民のスポーツ・文化芸術の活動を支援します。

施策5 地域の魅力を誇りに思えるまちづくり

区の魅力に愛着や誇りが持て、「ずっと住み続けたい」と思えるよう、地域の魅力の発信を推進していくとともに、大好きな緑区を後世につないでいけるような支援をします。

クアオルト®健康ウォーキングを軸とした次世代観光まちづくり

【区の特性に応じたまちづくり事業】

クアオルト健康ウォーキングは、癒しやりフレッシュ効果などの治療要素を持つ自然の中を適切な負荷をかけながら歩く、ドイツ発祥の「がんばらない」ウォーキングです。心筋梗塞や狭心症のリハビリ、高血圧の治療法としての効果も認められており、ドイツでは公的医療保険の対象になっています。

緑区は、豊かな自然や起伏に富んだ地形に恵まれています。また、各所には歴史文化資源がたくさん残されています。この自然の魅力と歴史の魅力を組み合わせることで、まちの魅力を感じながら、健康になれる新しいウォーキングが可能になります。

健康のためにウォーキングする人がまちの魅力を再発見し、観光に訪れた人が健康になっていく、そうした新しい価値を持つクアオルト健康ウォーキングを緑区中に展開していきます。区民の皆さまも訪れた人も、より健康になり、緑区の魅力を十分に感じられる、そうしたまちづくりを推進していきます。

2 令和6年度の取り組み内容

施策1 地域を主体とした住みよいまちづくり

1 交通安全・防犯の啓発活動や、町を美しくする運動を推進します（地域力推進課）
児童の見守り活動や防犯パトロールなどの地域活動を支援するとともに、警察などの関係機関と連携し地域行事において交通安全・防犯講話などの啓発活動を実施するほか、防犯情報などについてLINE等のSNSやウェブサイトを活用したタイムリーな発信を行います。また、クリーンキャンペーンや空地・空家の適正管理など町を美しくする運動に関係機関とともに取り組みます。
目標：アンケートで「安心・安全で快適なまちだと感じる」と答えた方の割合 95%（5年度実績 97.6%）

2 みどり市民病院から犯罪の抑止、生活・安全に関わる情報啓発を行います （名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院、緑警察署）
みどり市民病院において、通常診療の待ち時間に視聴して頂けるよう、デジタルサイネージ（院内情報モニター）を活用し、各種犯罪防止の啓発にかかる情報提供を行います。 また、みどり市民病院が開催する市民向け健康講座等の機会にあわせて、犯罪防止啓発活動を行います。
目標：デジタルサイネージによる情報提供の更新回数 4回（5年度実績 4回以上）

3 放火されない環境づくりを推進します（緑消防署）
区民の皆さま一人ひとりの防火意識の高揚を図るため、火災原因上位の放火に対して、地域の皆さまと協力して「放火防止パトロール」や「住宅防火に関する相談会」を行います。また、火災の早期発見に有効な住宅用火災警報器の設置促進に取り組みます。
目標：放火防止パトロール 2回（5年度実績 4回） 住宅防火（住宅用火災警報器の設置・交換）に関する相談会 2回（5年度実績 2回）

4 資源・ごみの分別推進に取り組みます（緑環境事業所）
6月、11月の分別マナーアップ推進月間をはじめとして様々な機会をとらえ、資源とごみの分別の徹底を呼びかけ、ごみ減量や再資源化の取り組みを推進します。

5 環境デーなごや2024inみどりを開催します（緑生涯学習センター）
環境デーなごや事業の一環として、「生き物」や「食」などをテーマとし、環境保全などに関する活動をしている方を講師とし、体験を通して環境の大切さや素晴らしさを学ぶことができる講座を開催します。
目標：参加者アンケートで「満足した」と答えた方の割合 95%（5年度実績 100%）

6 地域環境イベントを開催します（緑環境事業所、南区公害対策課）
ごみ問題や地球温暖化対策など、関心を持ってもらうきっかけとするため、6月8日（土）に「地域環境イベント」を開催し、環境問題に主体的に参画する人づくり、人の輪づくりを推進します。
目標：参加者アンケートにおいて、「環境問題への関心が高まった」「よりよい環境づくりに向け行動するきっかけになった」と答えた方の割合 95%（5年度実績 96%）
7 ペットの適正飼育の普及啓発により環境美化を推進します（保健センター）
地域との協働により、道路上に放置された犬のふんをチョークで囲むイエローチョーク作戦を展開し、マナーの向上に取り組むなど、ペットによる迷惑防止対策を、区民の要望や地域の実情に応じて実施します。
目標：ペットに関する啓発活動 5回（5年度実績 8回）
8 災害時に備え各種防災訓練を実施します（総務課、緑消防署はじめ各公所(署)）
地震や風水害に備え、災害リスクに応じた啓発と実践的な住民参加型訓練を実施することで、防災意識の向上と地域防災力の強化を図ります。また、災害発生初動期の避難所開設に素早く対応し、円滑な運営につなげるため、全学区避難所開設訓練を実施します。
目標：各訓練参加者アンケートで、訓練全体について「災害時に必要な対応が理解できた」と答えた方の割合 95%（5年度実績 96%）
9 災害時における共助のしくみづくりを推進します（総務課、緑消防署）
全学区避難所開設訓練において、地区防災カルテを活用した地域の特性やハザードリスクに応じた避難行動につながる意識啓発や、町内会等での自主防災訓練における安否確認等を通じて、共助の仕組みづくりを推進します。
10 消防団員の確保を支援します（緑消防署）
地震や風水害に対応できるよう、消防団員の充足率向上を目指し、各種行事などを通じて積極的に消防団員募集の広報を行い、消防団員の確保に努めます。
11 事業所と地域との支援協力体制を推進します（緑消防署）
地震や風水害などの災害時には、事業所と地域の住民との一体的応急活動が必要であり、区内の事業所が所有する建物、土地、資器材などを地域住民の方々が活用できるよう、事業所と地域双方の協力体制の構築を支援します。
目標：支援協力に関する覚書の締結 95事業所（5年度実績 92事業所）

12	災害時の迅速な対応をめざし、名古屋市指定水道工事店協同組合との連携強化を図ります（上下水道局南部営業センター）
	災害時に名古屋市指定水道工事店協同組合（名水協）の協力を得ることで応急給水をはじめとする迅速な対応を図るため、防災訓練などを通じて名水協緑支部との連携体制を強化します。
13	緑区防災フェスタを開催します（総務課）
	多くの区内防災関係機関の参加により、災害時に活躍する車両の乗車体験をはじめ、食料のローリングストックなどの日常的な備えやハザードリスクなど災害時に役立つ様々な知識を楽しみながら学ぶことができる防災・減災イベント「緑区防災フェスタ」を、11月30日（土）に区役所において開催します。
	【自主的・主体的な区政運営予算活用事業】
	目標：来場者アンケートで「今後も参加したい」と答えた方の割合 95%（5年度実績 97%）
14	区内のボランティア団体と連携協力して防災啓発や訓練に取り組めます（総務課）
	緑区で活動する名古屋みどり災害ボランティアネットワークや家具転倒防止ボラ緑と連携し、各種防災イベントや発災時に備えた訓練を実施することにより、協力関係の構築に努めながら、地域防災力の向上に取り組めます。
	【自主的・主体的な区政運営予算活用事業】
15	災害ボランティアセンターの役割をPRします（緑区社会福祉協議会、総務課）
	大規模災害発生時に被災者のニーズにあったボランティアを派遣し、被災者の生活に寄り添って復旧・復興に向けた支援を行う「災害ボランティアセンター」の役割を、広く知ってもらい、効果的なセンター運営を行うため、センター立ち上げ訓練を行います。
	目標：イベントでのPR活動や災害ボランティアセンター立ち上げ訓練 4回 （5年度実績 4回）
16	防災に関する講座を開催します（緑生涯学習センター）
	区民の防災意識啓発のため、防災に関する講座を、緑区社会福祉協議会をはじめ、関係機関やボランティアグループと連携して開催します。
	目標：防災に関する講座、事業の開催 5回（5年度実績 5回）
17	区民一人ひとりの防災力の向上を図ります（緑消防署）
	南海トラフを震源とする巨大地震などによる被害は、十分な対策を行えば大幅に軽減できるとされているため、様々な機会を利用して区民の皆さま一人ひとりに対し、家具などの転倒防止や地震火災対策等により、事前に備えることの重要性を積極的に啓発します。
	目標：戸別訪問による啓発活動 8学区（5年度実績 7学区）

18 道路・公園の整備をすすめます（緑土木事務所）

機能的な都市活動と安心して安全な市民生活を確保するため、都市計画道路（古鳴海停車場線）及び都市計画墓園（みどりが丘公園）の整備を継続してすすめます。

19 市街地の整備をすすめます（緑都市整備事務所）

鳴海駅前では、駅北部の A・B 工区においてはみどり市民病院の整備に向け関係機関とともに検討をすすめます。大高駅前では、生活環境の改善と防災性の向上を図るため、土地区画整理事業と大高町線街路事業をすすめます。

20 誰もが安心して利用できる市バスをめざします（交通局緑営業所）

市バスは区民の皆さまにとって通勤、通学、買い物など、日常生活に欠かせない交通手段であり、その機動性を活かして、皆さまが安心してご利用できるよう、安全・安心・快適な運行に努めます。

施策 2 地域・世代を超えてつなげるまちづくり

1 緑区区民まつりを開催します（地域力推進課）
区民の皆さまに、緑区への親しみをより深めていただけるよう、ふれあいと交流の場として、「緑区区民まつり」を10月26日（土）に大高緑地において開催します。 【自主的・主体的な区政運営予算活用事業】
目標：来場者アンケートで、区民まつりに来場して「満足した」と答えた方の割合 95%（5年度実績 99%）
2 緑生涯学習センターまつりを開催します（緑生涯学習センター）
緑生涯学習センターを利用している自主学習グループの相互交流と日頃の学習成果発表の場として「緑生涯学習センターまつり」を9月～11月の土・日曜日に開催します。また、グループ活動の周知・活性化を目的として、SNSでの情報発信や「サイネージ」を活用して、まつりの様子が分かる動画の発表を、グループと協力しながら実施します。
目標：来場者アンケートで「満足した」と答えた方の割合 95%（5年度実績 99%）
3 徳重地区会館まつりを開催します（徳重地区会館）
地域のボランティア、地区会館利用者の方々にご協力いただきながら、舞台発表や体験教室、おんどく大会などのイベントを中心とした「第13回地区会館まつり」を11月17日（日）に開催します。
目標：来場者アンケートで「よかった」と答えた方の割合 90%（5年度実績 87%）
4 徳重地区会館における住民参加型自主事業を実施します（徳重地区会館）
地域住民との交流を深めるため、年齢別に文化系、スポーツ系などの講座を開催するとともに、人気のある事業は恒例化し、新規事業も取り入れるなど魅力ある事業を展開します。
目標：実施事業 10 事業（5年度実施 10 事業）
5 町内会・自治会の加入促進及び魅力発信による、地域力・共助力の向上を促進します（地域力推進課）
町内会・自治会加入促進のため、区役所・支所での加入申込受付（みどりっちポストによる受付）や電子申請システムでの受付を実施します。また、地域活動について、区民の皆さまの目に触れることで関心を高めてもらい参加していただけるよう、学区主催の夏祭りのイベントなどを区のホームページやSNS等で随時発信していきます。 【自主的・主体的な区政運営予算活用事業】
目標：学区や町内会・自治会の取り組みの記事を作成、発行 10 回

6	子ども会への支援を推進します（民生子ども課、緑区社会福祉協議会）
	子ども会の魅力や子ども会と地域の団体等が協働している取り組みを発信し、地域で支え合う「子ども会活動」を応援します。
7	花・水・緑の公園通り推進事業を促進します（地域力推進課）
	花と緑のまちづくりを推進するため、花水緑の会と協働で花植え・緑化活動を行うとともに、各種イベントでPRするなど花水緑の会の活動を支援します。 【自主的・主体的な区政運営予算活用事業】
	目標：イベントなどでのアンケートで、「花植え・緑化活動をよいと考える」と答えた方の割合 95%（5年度実績 99%）
8	区民プラザにおける区民活動を支援します（支所）
	地域住民の憩いと集いの場であるユメリア徳重内の区民プラザを安心・安全・快適な空間とするため、地元ボランティアグループ「みどり区民プラザサポータークラブ」が取り組む施設の案内・見守り活動を始め、季節ごとのイベントの実施や情報誌の発行などの活動を支援します。 【自主的・主体的な区政運営予算活用事業】
	目標：案内・見守り活動 1週間あたり 8回（5年度実績 8回）
9	ボランティア団体「なごや竹和会」の竹林整備事業を支援します（みどりが丘公園事務所）
	公園の緑や環境を保全するため、なごやの森づくり活動団体「なごや竹和会」の竹林整備活動、みどりが丘公園会館で開催される各種体験教室（竹材活用講座・園芸教室・竹細工教室など）を支援します。
	目標：竹林整備 9回、活動紹介展示会 1回（5年度実績 竹林整備 8回、展示会 1回）
10	「みどりが丘公園ララフルール」の花づくりボランティアの育成に取り組みます （みどりが丘公園事務所）
	花づくりのボランティアを育成するため、「なごや花づくりネットワーク」を活用した交流会や講習会、技術スタッフによる日常的なアドバイスを行うほか、プランターや花壇の草花管理、イベントの企画運営補助などを協働・連携して取り組みます。
	目標：活動回数 40回（週1日 ただし、雨天中止）（5年度実績 39回）
11	区民と区内農家の交流及び地産地消を推進します（東部・緑農政課）
	新鮮な地元農産物が身近で作られていることを体感してもらい、区内農家との交流を深めていただくため、スタンプラリーを実施します。このほか、区役所での農産物展示販売など地産地消の取組みを実施します。 【自主的・主体的な区政運営予算活用事業】
	目標：ハガキの有効応募件数 500件（5年度実績 456件）

施策 3 誰もが自分らしく輝けるまちづくり

1	子どもが育つ地域のつながりづくり事業を推進します (民生子ども課、緑区社会福祉協議会、緑児童館) 子どもが豊かに育つ地域づくりをめざして、民生委員児童委員や NPO と協働し、子どもの遊び場・地域の交流の場として、「プレーパーク」(※)を区内 4 か所で定期開催します。 【自主的・主体的な区政運営予算活用事業】 (※プレーパーク：子ども自らが「やってみたい」という衝動や好奇心によって、さまざまなことに挑戦し、冒険できる遊び場) 目標：大高南地区、鳴子地区、鳴海東部地区、片平地区の 4 地区のプレーパーク(各地区・月 1 回開催)の参加者数 合計 2,100 人(5 年度実績 合計 2,058 人)
2	子ども向けのシリーズ事業「ゆめみどり」を開催します(緑文化小劇場) 子どもたちに文化芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、交流・創造の場を創出するため、子ども向けの公演やワークショップを開催します。 目標：来場者アンケートで「良かった」と答えた方の割合 96%(5 年度実績 96%)
3	子どもの読書活動を推進します(緑図書館、徳重図書館) 子どもたちが読書に興味関心や親しみをもってもらうため、トワイライトスクールやふれあいセンターなど子育て支援拠点等において、出張おはなし会を実施します。 目標：実施回数 12 回(5 年度実績 100%)
4	子ども向けの講座、イベントを実施します(緑生涯学習センター) 子どもたちの学びの場を提供するため、文化・芸術・スポーツ系の講座やイベントを実施します。 目標：子ども向けの講座・イベントの開催 5 講座(5 年度実績 6 講座)
5	児童虐待を防止します(民生子ども課、支所、保健センター、東部児童相談所、なごや子ども応援委員会、緑警察署) 児童虐待を防止するため、学校、保育所、幼稚園、児童委員のほか、日頃から児童に接する機会の多い団体などと連携して、早期発見・早期対応に努めるとともに、支援を要する児童や家庭への援助を行います。また、5 月及び 11 月の「児童虐待防止推進月間」を中心に、児童相談所虐待対応ダイヤル「^{いちはやく}189」を始めとする児童虐待防止に関する周知を関係機関・団体と連携して展開していきます。

6	みどり親育ちのがっこう（子育て講座）を開催します （民生子ども課、保健センター、緑生涯学習センター、緑児童館）
	乳児から中高生の各年代の子を持つ親に向けて、関係機関・団体が連携し、子育て知識の習得や仲間づくり、父親の育児参加の促進など、親が親として育つことを応援するため、様々な学びの場を企画・開催し、子育ての悩みや孤立などの解消に努めます。また、講座の開催を幅広く広報するために SNS での情報発信を行うほか、講座に参加いただける機会を増やすため土・日曜日にも講座を開催します。 【自主的・主体的な区政運営予算活用事業】
	目標：連続講座受講者の子育てに対する自己評価（10 段階評価）の全体平均 受講の前と後で 3 段階以上改善（5 年度実績 3 段階向上）

7	新規 子育て支援事業の紹介動画を作成します（民生子ども課）
	緑区の子育て支援事業を広く周知するために、親子で一緒に観てもらえるよう「みどりっち」が子育て支援事業を案内する動画を作成し、子育て中の親子が多く訪れる場所などで上映します。 【区の特性に応じたまちづくり事業】

8	子どもの発達や障害等でご心配の保護者を支援します（保健センター）
	子どもの発達や障害について心配のある保護者が安心して子育てを行うとともに、必要なつながり・サポートを得ることができるようにするため、交流会・学習会を開催するなど、保護者の相談に応じながら支援します。 【自主的・主体的な区政運営予算活用事業】
	目標：発達が心配な保護者向け「子育て交流会」：2 回 障害児や医療的ケア児と保護者対象の学習会：1 回 障害児や医療的ケアが必要な児童の保護者のグループへの保健師参加： 各グループ 1～2 回 （5 年度実績 「子育て教室」4 回開催、講演会 2 回開催、保護者グループへの保健師参加延べ 8 回）

9	子どもの事故予防・救急法教室を開催します（保健センター）
	子どもの死因の上位である“不慮の事故”を防止し、その命を守るため、親や周囲の大人に向け事故予防や救急法・心肺蘇生法を学ぶ「子どもの事故予防・救急法教室」の開催や乳幼児揺さぶられ症候群の予防について啓発を行います。
	目標：「子どもの事故予防・救急法教室」：実施回数 20 回、計 200 人 3 か月児健康診査における講話：実施回数 42 回、計 840 人 ニューファミリーセミナー（パパママ教室）における講話： 実施回数 24 回、計 300 人 （5 年度実績 「子どもの事故予防・救急法教室」 22 回 計 156 人、 3 か月児健康診査における講話の実施 44 回 計 928 人 合計 66 回 計 1,084 人）

10	住み慣れたまちでいつまでも生活するための取り組みを推進します （福祉課、支所、保健センター、緑区社会福祉協議会、いきいき支援センター、医師会、歯科医師会、薬剤師会等関係機関） 高齢になっても安心して暮らし続けられるよう、地域のニーズを把握しながら、医療、保健、福祉、介護の関係機関や地域団体と協力して、地域のつながりづくり等の取り組みを推進します。
11	あたたかく見守り、お互いさまの気持ちで支え合える地域づくりをめざします （福祉課、支所、緑区社会福祉協議会） 日頃、地域で見守り活動をしていただいている方々の困りごとの解消やより効果的な活動につながるよう、意見交換会を実施するとともに、各地域における活動の取り組み事例の紹介により、見守り活動を支援します。 目標：見守り活動の意見交換会の実施 1 回（5 年度実績 1 回）
12	老人クラブへの加入促進を支援します（福祉課） 老人クラブの加入を促進するため、区役所などでのモニター放映、広報なごやでの広報を通じ、魅力や活動を広く周知します。また、老人クラブと一緒に、活動に関心をもってもらえる方策について検討するとともに、ご加入いただけるような取り組みを実施します。
13	「緑区あんしんカード」の活用を周知します（福祉課、支所） 緊急連絡先などを記載した「緑区あんしんカード」の現在の活用状況を踏まえた上で、より活用いただける方策について検討します。また、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯以外の方にも使えるように、ウェブサイト「緑区あんしんカード」を掲載するほか、区役所、支所等で配布します。 【自主的・主体的な区政運営予算活用事業】
14	認知症になっても支えあって暮らせる地域づくりをめざします （福祉課、支所、保健センター、いきいき支援センター、緑区社会福祉協議会） 認知症への理解を深め、当事者や家族の安心につながる啓発イベントを行うとともに、若い世代を主な対象とした認知症サポーター養成講座の実施回数を増やします。また、コロナ禍で休止・縮小していた認知症の当事者や家族の交流の場である「認知症カフェ」の活動再開に向けた支援を行います。 目標：認知症サポーター養成講座の実施 50 回（5 年度実績 66 回）

15	つながり・支えあう福祉のまちづくりへの取り組みである「第5次緑区地域福祉活動計画」を推進します（緑区社会福祉協議会、区役所、支所、保健センター） 誰もが安心して暮らすことができる地域をつくるために、その地域の住民の皆さまや各関係機関が連携・協働し取り組む「第5次緑区地域福祉活動計画」を推進します。また、高齢者等のちょっとした困りごとを地域住民の皆さまどうしの支えあいでも解決する取り組みである「地域支えあい事業」について、実施する学区を拡大します。 目標：第5次緑区地域福祉活動計画の着実な推進と「地域支えあい事業」実施学区を現在の6学区から7学区に拡大（5年度実績 5学区から6学区）
16	人権に関する講座・事業を開催します（緑生涯学習センター、地域力推進課） 価値観や考え方が複雑化・多様化する現代において、一人ひとりの人権が尊重され、差別や偏見がなく、互いの個性を認めあい支えあうまちづくりをすすめていくため、様々な分野の人権問題を、一人ひとりが自らの問題として気づき、学び、行動できるようになるための講座・事業を開催します。 目標：人権に関する講座・事業の開催 6回（5年度実績 6回）
17	多文化共生を推進します（区役所、支所） 外国人の方にも必要な情報が伝わり、理解されるような区役所サービスの充実を図るため、ポケットークやタブレット端末のアプリを利用した通訳の実施や、名古屋転入ウェルカムキットや緑区の歴史・文化やみどころ等を紹介する英語パンフレットを配布します。また、みどり多文化共生ボラネットの活動を支援します。 （※名古屋転入ウェルカムキット：転入してきた外国人の方を対象とした、名古屋での暮らしに役立つ情報をまとめた封筒）
18	誰もが利用しやすい図書館の環境づくりに取り組みます（緑・徳重図書館） 言葉によるコミュニケーションに困難のある外国人や障害者との意思疎通を円滑に図るために、カウンターでコミュニケーションボードを活用します。
19	男女平等参画の意識啓発を推進します（地域力推進課） 男女がともにその能力と個性を発揮できる男女共同参画社会の実現をめざすため、家庭や地域における男女平等参画を進めることを目的とした講演会を開催するなど、意識啓発を推進します。 目標：男女共同参画に資する講演・講座等の実施 1回

20	障害のある人が作った製品の販売を支援します（福祉課、支所）
	障害への理解促進や就労の支援を行うため、障害のある人が作った製品を販売する「みどり福祉の店」を区役所・ユメリア徳重内に設置するほか、ショッピングモールにて販売フェアを開催します。また、その製品のニーズを踏まえた上で地域等と連携し、販売機会の拡大など支援をします。
	目標：販売フェアの開催 1 回（5 年度実績 1 回）
21	「障害のある人もない人も共につくる緑区民のつどい」を開催します （福祉課、支所、保健センター、緑区社会福祉協議会、緑区障害者基幹相談支援センター）
	障害への理解を深めるため、「障害のある人もない人も共につくる緑区民のつどい」を開催し、誰もが人格と個性を尊重し合いながら共に生きる地域社会の実現をめざします。
	目標：イベント開催 1 回（5 年度実績 1 回「福祉体験」開催）
22	新規 困りごとを抱える世帯への支援体制を強化します （区役所、支所、保健センター、緑区社会福祉協議会、いきいき支援センター等関係機関）
	潜在的に困りごとを抱える世帯の早期発見や支援充実のため、区役所内の相談支援体制の強化を行います。 また、「8050 問題」「ダブルケア」といった分野別の支援体制では対応しきれないような複雑化・複合化した支援ニーズについては、緑区社会福祉協議会に設置する包括的相談支援チームを中心に、各関係機関や地域における支えあいの取組みが連携し、一体的に支援するなど、重層的支援体制整備事業を推進します。

施策 4 暮らしの中で健康になれるまちづくり

1	新規 健康危機管理事業への対応の普及啓発事業を実施します（保健センター） ひとたび感染症が流行すると重症化のリスクが高いとされる高齢者施設に対して、平常時だけでなく災害発生時の感染対策にも対応できるよう、オンラインを活用した感染症予防講習会を実施します。 【自主的・主体的な区政運営予算活用事業】 目標：緑区内の高齢者施設実会場と WEB 会場のハイブリッドで実施予定の感染症予防講習会：2 回以上開催、満足度・理解度 83% 施設より複数人の感染を伝えられた時点で何回巡回指導の実施：年 2 か所程度想定
2	高齢者に合わせた体操の普及を通じて介護予防に取り組みます（保健センター、福祉課、支所、いきいき支援センター、緑区社会福祉協議会） 高齢者など区民の運動習慣づくりのため、スキマ時間で“こころ”と“からだ”を元気にする緑区オリジナル「きらきらマン体操」を普及させることにより介護予防をすすめます。 目標：きらきらマン体操：実施回数 50 回、参加者 750 人 (5 年度実績 実践回数 104 回、参加者数 2,702 人)
3	市民向け健康講座を実施します（名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院） みどり市民病院において、名古屋市立大学と緑区役所との連携協力事項である、福祉・健康・医療等をテーマとした「市民向け健康講座」を開催することにより、予防医療など地域の皆さまの健康づくりを支援します。 目標：実施回数 4 回（5 年度実績 4 回）
4	拡充 ポールウォーキング及びクアオルト®健康ウォーキングを通じた健康づくりを推進します。（保健センター） 簡単に取り組める健康づくりの入口としてのポールウォーキングについて、これまでの取り組みに加え、新たにクアオルト®健康ウォーキングの要素を取り入れます。また、令和 5 年度に認定されたクアの道にて体験会を開催するなど、広く区民の皆さまが健康づくりに取り組みやすい環境を整えます。 【自主的・主体的な区政運営予算活用事業】 目標：クアオルト®健康ウォーキング with ポール 講座： 実施回数 8 回、参加者数 150 人 クアオルト®健康ウォーキング with ポール 体験会： 実施回数 2 回、参加者数 40 人、参加者の満足度 100%
5	スポーツ指導者を派遣します（緑スポーツセンター） 区民の皆さまが「お得」に「楽しく」健康づくりに取り組める仕組みをつくるとともに、健康に関心な層も取り込んで区民の健康意識を高めるため、地域や関係機関と連携しながらスポーツ指導者を派遣します。 目標：実施回数 12 回（5 年度実績 11 回）

6 生涯スポーツの振興を図ります（地域力推進課）
幅広い世代の方が気軽にスポーツに親しみ、継続していくきっかけとなるよう、緑区体育協会等とともに各種スポーツ大会などを開催します。 また、ユニバーサルスポーツに親しむ機会を作り、普及振興を図るため、「ポッチャ」の用具の貸出しを行うとともに、普及を担う人材を育成します。
目標：スポーツ大会の総参加者数 3,600 人（5 年度実績 2,947 人）
7 みどリーむステージ（緑区民舞台発表会）を開催します（地域力推進課）
趣味や生きがいとしてさまざまな文化活動に取り組む区民の皆さまが、日頃の成果を気軽に発表できる場として、「みどリーむステージ（緑区民舞台発表会）」を開催します。
目標：参加団体数 30 団体（5 年度実績 29 団体）
8 緑フェスタを開催します（緑文化小劇場）
劇場練習室の利用団体の発表の場として、合同発表会「緑フェスタ」を開催します。当日の運営を出演団体が協力して進めることで、団体間の交流を図るとともに、地域の方々が気軽に立ち寄れるように、フリーマーケットや屋台の出店も行います。
目標：来場者アンケートで「良かった」と答えた方の割合 96%（5 年度実績 96%）
9 緑区民美術展を開催します（地域力推進課）
区民の皆さまに芸術を身近に感じていただくとともに、日頃創作活動を行っている方にいきいきと目標を持って取り組んでいただけるよう、緑区文化協会と連携して「緑区民美術展」を開催します。 あわせて、より幅広い方々に参加いただける機会となるよう、展示作品の新たなジャンルを検討します。
目標：緑区民美術展の来場者数 700 人（5 年度実績 556 人）

施策 5 地域の魅力を誇りに思えるまちづくり

1 歴史文化交流支援事業を推進します（地域力推進課）
緑区の歴史的・文化的な魅力を発信するとともに、区民の皆さまが地域への愛着を深められるよう、区民の活動の支援と協働により、幅広い世代が参加しやすい散策会や歴史イベントなどを実施します。【自主的・主体的な区政運営予算活用事業】
目標：参加者アンケートで「緑区の歴史について理解が深まった」と答えた方の割合 95%（5 年度実績 84%）
2 緑区の魅力を発信します（地域力推進課）
緑区が何度でも訪れ巡りたくなるまちとなっていくよう、「緑区観光推進協議会」とともに、歴史的・文化的魅力を発信し、あわせて食の魅力についても掘り起こしていきます。【自主的・主体的な区政運営予算活用事業】【区の特性に応じたまちづくり事業】
目標：Instagram フォロワー数 2,000 人（5 年度末時点 1,042 人）
3 区の特徴を活かした講座を開催します（緑生涯学習センター）
多くの方々が緑区への関心をより一層高め、愛着や誇りを感じることができるよう、緑区の歴史や文化、自然にちなんだ魅力を学んだり、子育てについての学びやコミュニティづくり、地域のマイスターグループ活動を体験するなど、まちづくりに関わる人が育つ講座を開催します。
目標：緑区の特徴を活かした講座の開催 6 講座（5 年度実績 6 講座）
4 伝統野菜である「大高菜」及び「徳重だいこん」の普及を図ります（東部・緑農政課）
あいちの伝統野菜である「大高菜」及び「徳重だいこん」の種蒔きや収穫などの栽培体験を通じて、子どもたちに身近に感じてもらいます。また、市民への大高菜の種子配布のほか、生涯学習センターと共催して伝統野菜を使った料理教室も行います。
目標：大高菜の種子配布 1,000 人（5 年度実績 1,150 人）
5 緑区観光大使を活用した緑区の PR を実施します（地域力推進課）
三味線奏者の山口晃司氏に、緑区観光大使として緑区の魅力を国内外で幅広く発信していただくとともに、子どもから大人まで幅広い年代に認知されている「みどりっち」を通じて、区への愛着を深めていただけるような取り組みを実施します。
目標：アンケートで「みどりっち」を知っていると答えた方の割合 95%（5 年度実績 94%）

区政運営の推進にあたって

区民に最も身近な行政機関として、快適で、ニーズを満たしたサービスの提供により、区民の皆さまに満足していただける区役所を目指します。

1 幅広い区民ニーズの把握と区政への反映に取り組みます。(区役所、支所)

より幅広い区民の視点からまちづくりを進め、緑区に愛着を持っていただけるように、区民の意識やニーズを的確に把握し、区政運営や各事業の取り組みへの反映に努め、区民が区政に参画し協働しやすい環境づくりを推進します。

具体的には区民アンケートや緑区区民会議のほか、子育て世代や若い世代なども参加しやすいワークショップの実施等により意見聴取に努め、区の取組みの認知度向上や参画意識の醸成に取り組みます。 【自主的・主体的な区政運営予算活用事業】

目標：区民アンケートで、各種取り組みについて「十分」「おおむね十分」と答えた方の割合 70% (5年度実績 60.4%)

2 ご満足いただけるような窓口サービスと利便性の高い行政サービスを提供します (区役所、支所)

フロアサービスによる窓口案内や「おくやみコーナー」の設置、オリジナル誕生祝いカードの配付、フォトスポットの設置など、来庁者の方に寄り添い、ご満足いただける窓口サービスに努めます。

また、マイナンバーカード交付予約や保育所等の利用申し込みなど一部手続きの電子申請に加え、令和6年度以降、医療・福祉などの行政手続の一部オンライン化を予定しており、さらなる区民サービスや利便性の向上に努めます。

(※おくやみコーナー：亡くなられた後の区役所・支所における手続きについて、ご案内と各種申請書作成のお手伝いを行います。)

3 広報・情報提供の多様化を図ります(地域力推進課、企画経理課)

区民の皆さまにお知らせすべき情報を迅速に届け、また知りたい情報にスムーズにアクセスできるよう、広報なごや、区公式ウェブサイト、SNS など様々な広報媒体を用い、多様な情報発信に努めます。

4 職員の人材育成を図ります(総務課)

適正な事務執行や服務規律の保持はもとより、職場の枠を超えて区民の皆さまに寄り添い、区民の皆さまに満足いただけるような区民サービスを提供できる職員を育成します。

参考

《各将来像に掲げる成果指標》

取り組みの成果をはかるために成果指標と目標値を設定しました。成果指標の数値は毎年把握をし、各年度の区政運営方針にて進捗管理を行ってまいります。

将来像 1 安心・安全で快適に暮らせるまち

将来像 1 の成果指標	直近の 現状値	目標値 令和 10 年度
犯罪がなく安心して暮らせると思う人の割合	83.4%	86%
家庭内において災害に対する備えをしている人の割合	62.6%	100%
地域活動やボランティア・NPO活動に参加している人の割合	42.4%	48%



将来像 2 子ども・高齢者・障害者 誰もがいきいきと暮らせるまち

将来像 2 の成果指標	直近の 現状値	目標値 令和 10 年度
子育てしやすいまちだと思ふ人の割合	86.9%	90%
高齢者にとって住みやすいまちだと思ふ人の割合	70.4%	75%
障害者が安心して暮らしやすいまちだと思ふ人の割合	52.5%	60%
健康づくりや生きがいづくりのために、自主的に、健康・スポーツ・文化・学習活動に取り組んでいる人の割合	48.3%	55%



将来像 3 魅力にあふれ歴史・文化を大切にするまち

将来像 3 の成果指標	直近の 現状値	目標値 令和 10 年度
緑区の魅力、歴史・文化を区外の人に紹介したいと思ふ人の割合	45.8%	65%
マスコットキャラクター「みどりっち」の認知度	65.3%	70%



《令和6年度予算執行計画》

○自主的・主体的な区政運営予算執行計画

区役所が自主性・主体性を発揮した取り組みを行うための予算として、人口規模等を勘案して、11,002,000円が緑区に配当されました。その執行計画は次のとおりです。

施策1 地域を主体とした住みよいまちづくり	金額 350,000円
・緑区防災フェスタを開催します ・区内のボランティア団体と連携協力して防災啓発や訓練に取り組みます	
施策2 地域・世代を超えてつながるまちづくり	金額 6,578,000円
・緑区区民まつりを開催します ・町内会・自治会への加入を促進します ・花・水・緑の公園通り推進事業を促進します ・区民プラザにおける区民活動を支援します ・区民と区内農家の交流及び地産地消を推進します	
施策3 誰もが自分らしく輝けるまちづくり	金額 2,473,000円
・子どもが育つ地域のつながりづくり事業を推進します ・みどり親育ちのがっこう（子育て講座）を開催します ・子どもの発達や障害等でご心配の保護者を支援します ・「緑区あんしんカード」の活用を周知します	
施策4 暮らしの中で健康になれるまちづくり	金額 376,000円
・健康危機管理事案発生時対応の普及啓発事業を実施します ・ポールウォーキング及びクアオルト®健康ウォーキングを通じた健康づくりを推進します	
施策5 地域の魅力を誇りに思えるまちづくり	金額 560,000円
・歴史文化交流支援事業を推進します ・緑区の魅力を発信します	
区政運営の推進にあたって	金額 665,000円
・幅広い区民ニーズの把握と区政への反映に取り組みます	
合計 11,002,000円	

○特性に応じたまちづくり事業予算執行計画

区の課題に対し、地域住民とともに重点項目として取り組むために、以下の事業を実施します。事業の実施にあたっては、皆さまからの寄付金を積み立てた「区まちづくり基金」を活用させていただきました。

金額 16,730,000円

(うち区まちづくり基金活用額 1,240,000円)

・次世代観光まちづくり事業 クアオルト®健康ウォーキング ・緑区魅力発信事業2024 ・子育て支援事業の紹介動画の作成	
---	--

《令和5年度予算執行実績》

○自主的・主体的な区政運営予算執行実績

1 安心・安全で快適に暮らせるまち

金額 7,181,926円

- ・緑区防災フェスタを開催します
- ・親子防災イベント「あそぼうさい・まなぼうさい」を開催を支援します
- ・緑区区民まつりを開催します
- ・町内会・自治会への加入を促進します
- ・区民と区内農家の交流及び地産地消を推進します
- ・花・水・緑の公園通り推進事業を促進します
- ・区民プラザにおける区民活動を支援します

2 子ども・高齢者・障害者 誰もがいきいきと暮らせるまち

金額 2,291,793円

- ・みどり親育ちのがっこう（子育て講座）を開催します
- ・子どもが育つ地域のつながりづくり事業及び子ども会の支援を推進します
- ・障害児を育てる親のグループ等の活動を支援します
- ・健康志向のコミュニティづくりをめざします

3 魅力にあふれ歴史・文化を大切にするまち

金額 789,000円

- ・緑区の魅力を発信します
- ・歴史文化交流支援事業を推進します

4 親しまれ信頼される区役所づくり

金額 339,128円

- ・区民意見を区政に反映させます

合計 10,601,847円

○特性に応じたまちづくり事業予算執行実績

金額 7,728,834円

(うち区まちづくり基金活用額 1,622,000円)

- ・“魅力”がずーっとプロジェクト
- ・“ありがとう”がずーっとプロジェクト
- ・“元気”がずーっとプロジェクト
- ・緑区魅力発信事業2023